

2024年11月29日
株式会社三菱UFJ銀行

「自然資本経営評価型ローン」の提供開始

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}）は、お客さまの自然資本経営の取り組みを評価する融資商品である「自然資本経営評価型ローン（以下、本商品）」の取り扱いを開始いたしました。

1. 背景

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下、MUFG）では、従来から環境方針の制定や、環境・社会ポリシーフレームワークによる融資先の環境配慮の確認、廃棄物のリサイクルなどを通じた自社の事業活動による環境負荷の軽減、森林保全などの社会貢献活動を通じた自然保全活動を行ってきました。MUFGはTNFDの普及に向けた早期開示の重要性に鑑み、2024年1月に「TNFD Early Adopters」に登録、2024年4月にはTNFDレポートを公表しています。

また、2024年度からスタートした中期経営計画では、持続可能な環境・社会の実現に向け、優先的に取り組むサステナビリティ課題を設定しており、新たに「自然資本・生物多様性の再生」をその一つに選定しています。今般、その取り組みの一環として、本商品の提供開始に至りました。

2. 本商品の概要

本商品では、自然資本経営評価を取得し、一定基準以上のスコアを取得された企業については、「自然資本経営評価型ローン」としての実行及び対外的な発信が可能となります。なお、自然資本経営評価においては、MUFGの一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下、MURC）をサービス提供者、サステナブルファイナンスの評価を行う株式会社日本格付研究所（以下、JCR）をサポート企業としております。MURCが自然資本経営に関する独自のチェック項目に基づき、お客さまの自然資本経営に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCRとの連携で客観的な評価を実施し、課題などもお客さまにフィードバックします。

MUFGは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの自然資本経営の取り組みを支援し、持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上